

SALON de PRO

サロンドプロ

泡のヘアカラー・エクストラリッチ

〈使用説明書〉

1箱全量でセミロングヘア
(肩につく程度) 約1回分です。

DARIYA

ヘアカラーによる アレルギーのリスクについて

ヘアカラーによる「かぶれ」は、頭・髪
の生え際・顔・首筋等に、かゆみ・は
れ・赤み・ブツブツ等の症状がでるこ
とをいい、かゆみしか感じないことも
あります。かぶれと気づかず、又は
かぶれの症状が軽いため使用を繰
り返したり、症状が治まった後に再使
用したりすると、次第に症状が重くな
り、まれに「アナフィラキシー」という
重篤なアレルギー反応(全身じんま
疹、呼吸困難等)等が突然起こること
があり危険です。このようなかぶれの
症状を経験された方は、絶対に使用し
ないでください。

液だれに注意してください!!

- ① 泡をしっかりとみこむように
塗布してください。
- ② 塗布しすぎると、液だれする
事があります。

※もし、たれた場合はすぐに拭きとってください。

注意!!

泡のまま放置
しないでください



使用上の注意

1 次の方は使用しないでください。

- ① 今までに本品に限らずヘアカラーでかぶれたことのある方
- ② 染毛中または直後に、じんま疹(かゆみ、発疹、発赤)あるいは気分の悪さ(息苦しさ、めまい等)を経験したことのある方
- ③ 皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の結果、皮膚に異常を感じた方
- ④ 頭皮あるいは皮膚が過敏な状態になっている方(病中、病後の回復期、生理時、妊娠中等)
- ⑤ 頭、顔、首筋に、はれもの、傷、皮膚病がある方
- ⑥ 腎臓病、血液疾患等の既往症がある方
- ⑦ 体調不良の症状が持続する方(微熱、倦怠感、動悸、息切れ、紫斑、出血しやすい、月経等の出血が止まりにくい等)

2 使用前のご注意

- ① 染毛の2日前(48時間前)には、右記の手順に従って毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。パッチテストは、染毛剤にかぶれる体質であるかどうかを調べるテストです。テスト部位の観察はテスト薬剤塗布後30分位および48時間後の2回行います。過去に何回も異常なく染毛していた方でも、体質の変化によりかぶれるようになる場合もありますので、毎回必ず行ってください。
- ② 頭髮以外には使用しないでください。本品は頭髮用の製品です。
- ③ 眉毛、まつ毛に使用しないでください。薬剤が目に入るおそれがあります。
- ④ 顔そり直後は染毛しないでください。皮膚が細かく傷ついているおそれがあり、刺激等を受けやすくなります。
- ⑤ 染毛の前後1週間はパーマネントウェーブをかけないでください。髪を傷めたり、色落ちしたりすることがあります。

その他のご注意

- ① 温度が40℃以上になる所に置かないでください。
- ② 火の中に入れないでください。
- ③ 使い切って捨ててください。
- ④ 捨てる時には、火気のない戸外で噴射音が消えるまでレバーを押し、ガスを抜いてください。
- ⑤ 本品の容器(2in1ボトル)を分解すると使うことができなくなるので注意してください。
- ⑥ 幼小児には、使用しないでください。
- ⑦ 公衆浴場等での使用は、汚れ等で周囲の人の迷惑になりますのでご遠慮ください。
- ⑧ 薬剤が衣服、床、じゅうたん、壁、洗面台、鏡等に付着すると落ちませんので、充分注意してください。
- ⑨ ご使用後1週間はシャンプーにより色落ちし、タオルに色がつくことがあります。
- ⑩ 次のような場合は、衣類、帽子、枕カバー等に色移りすることがありますので注意してください。
 - 髪がぬれている時。(運動等で多量の汗をかいた時、雨にぬれた時、洗髪後等。)
 - 育毛剤、ヘアリキッド、ヘアフォーム等の頭髮用品を多量に使用した時。
- ⑪ ヘアマニキュア・カラートリートメント等で染毛された髪にお使いになると、希望通りの色にならないことがあります。
- ⑫ ウェーブパーマ・縮毛矯正を使用した髪にヘアカラーをするとパーマの効果が弱くなる場合があります。
- ⑬ 使用前の髪色、白髪の量、髪質、室温、放置時間等により、染め上がりの色調は変わります。
- ⑭ すでに暗めの色で染めてある髪は、その色より明るく染め変えることは困難です。
- ⑮ ヘアカラーで黒く染めた髪は、色合いが変わりません。
- ⑯ 再度ヘアカラー(ヘアマニキュア・カラートリートメントを除く)をする場合は、髪への負担を考え、1週間以上の間隔をおいてください。

3 使用時のご注意

- ① 薬剤は使用直前に混合し、直ちに使用してください。
- ② 換気のよい所で使用してください。
- ③ 必ず添付の手袋を着用してください。
- ④ 染毛中に入浴したり、染める前に髪をぬらしたりしないでください。汗やしずく等で薬剤が目に入るおそれがあります。
- ⑤ 薬剤が顔、首筋等につかないようにしてください。薬剤がついた時は、直ちに水で洗い落としてください。
- ⑥ 薬剤や洗髪時の洗い液が目に入らないようにしてください。目に入ると激しい痛みを生じたり、場合によっては目が損傷(角膜の炎症等)を受けたりすることがあります。万一、目に入った時は絶対にこすらないで、直ちに水またはぬるま湯で15分以上よく洗い流し、すぐに眼科医の診療を受けてください。
- ⑦ 染毛中に発疹、発赤、はれ、かゆみ、強い刺激等の皮膚の異常やじんま疹、息苦しさ、めまい等の症状が現れた場合には、直ちに薬剤をよく洗い流し、すぐに医師の診療を受けてください。
- ⑧ 染毛後に何らかの異常を感じた場合には、必ず医師の診療を受けてください。

4 取り扱い上のご注意

- ① 混合した薬剤の残りは効果がなくなります。必ず洗い流して捨ててください。

5 保管上のご注意

- ① 幼小児の手の届かない所に保管してください。誤って飲んだり食べたりすると危険です。
- ② 高温や直射日光をさけて保管してください。

皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行いましょう。

皮膚アレルギー試験(パッチテスト)は染毛の2日前(48時間前)に行ってください。

① 次のものを準備します。

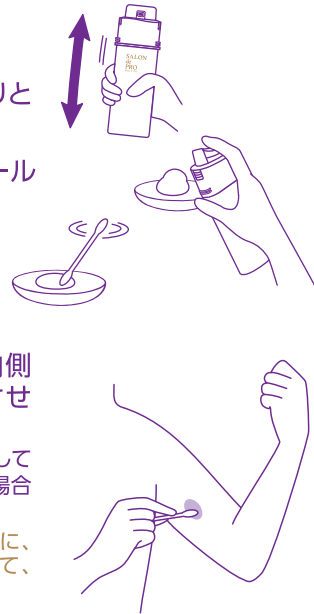


② テスト薬剤を作ります。

- ① キャップをはずし、ボトルを上下にしっかりと20回ほど強く振ります。
- ② レバーをしっかりと押し切ってゴルフボール1個分くらいを小皿に出します。
- ③ 綿棒で混ぜ合わせます。

③ テスト薬剤を塗ります。

テスト薬剤ができましたら、綿棒で腕の内側に10円硬貨大にうすく塗り、自然に乾燥させます。
(テスト薬剤が乾燥するまで衣服につかないよう注意してください。また、塗った部分が30分位しても乾かない場合は、ティッシュペーパー等で軽く拭き取ってください。)
※テスト薬剤を塗り終えたら、ノズル部をはずさず、ボトルとノズル部をきれいに拭き、キャップをして、高温の場所を避けて保管してください。



④ 48時間放置します。

- ① そのまま触れずに48時間放置します。(時間を必ず守ってください)。テスト薬剤を塗った所は絆創膏等で覆わないでください。
※パッチテスト中は、入浴やシャワーをひかえてください。やむなくシャワー等をする場合は、テスト薬剤を塗った部分をぬらしたり、こすったりしないように注意してください。
※塗った部分は着色しますが、パッチテスト終了後、通常の入浴により数日程度で落ちていきます。
- ② テスト部位の観察はテスト薬剤塗布後30分位および48時間後の2回は必ず行ってください。その時塗布部に発疹、発赤、かゆみ、水疱、刺激等の皮膚の異常があった場合には、手でこすらないで直ちに洗い落とし、染毛しないでください。途中、48時間以前であっても、同様の皮膚の異常を感じた場合には、直ちにテストを中止し、テスト薬剤を洗い落として染毛しないでください。

⑤ 異常がないか確認し、染毛します。

48時間後の確認で異常がなければ、染毛してください。日をおくと体質が変わることがありますので、皮膚アレルギー試験(パッチテスト)は毎回必ず染める前に行ってください。

※テストした部分はテスト後によく洗ってください。

皮膚アレルギー試験の結果、万一異常があった場合には、皮膚科専門医の診療を受けてください。また、お肌の状態や商品については、弊社 お客様相談室 までご相談ください。

本品の使用法、その他についてのお問い合わせは、弊社までご連絡ください。

株式会社 ダリヤ お客様相談室 ☎0120-572152

ご使用前の準備

シャンプーは染める前日までに すませておいてください。

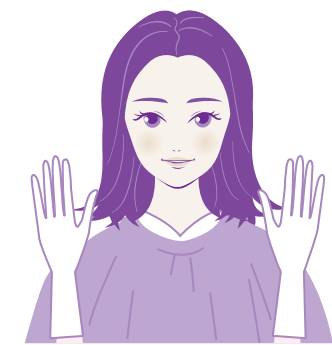
- 髪のがれがひどい時、整髪料を多めに使用している時、一時着色料や金属粉等が髪についている時は、染まりが悪くなりますので、染める前日にシャンプーしておいてください。
- やむなく染める当日にシャンプーする場合は、地肌をツメ等で傷つけないように丁寧に洗い、髪をよく乾かしてください。(髪がぬれていると、泡が目に入ったり、染まりが悪くなることがあります。)

1 必要なものをそろえます。



2 染める前の身じたくをします。

- 汚れてもさしつかえない前あきの衣服で行ってください。
- 床が汚れないように新聞紙等を敷きます。(衣服や床等に泡がつくと色が落ちませんので、充分注意してください。)



※金属製のクシやヘアピン等は使わないでください。

- 皮膚に泡がついても落ちやすくするために、耳や髪の生え際に油性のクリームを塗ります。
※油性のクリームが髪につくと染まりが悪くなりますので注意してください。
- メガネ、イヤリング、ピアス、指輪、ネックレス等の金属物や、コンタクトレンズは、はずしてください。
- 首にタオルを巻き、衣服に泡がつかないように、ケープ又は大きめのタオルでおおいます。
- 手袋をはめます。

使用前に必ず
表面をお読み
ください。

ご使用法

専用サイトで使い方の
動画がご覧になります。
サロンドプロ 検索

- 泡が目には絶対入らないように注意してください。
- 使用前には、表面の要領で毎回必ず皮膚アレルギー試験（パッチテスト）をしてください。
- 寒冷時には泡にならないことがあります。
※暖かい室内（20～25℃）にしばらく置いてください。
ストーブ・ファンヒーター・熱湯等で絶対に加熱しないでください。
- 寒いと染まりにくいので、暖かい場所（20～25℃）で染めてください。
- 乾いた髪に使用し、染毛中に入浴はひかえてください。
- ヘアカラーの匂いがありません。お子さまが誤って口に入れないよう注意してください。
- 毛髪が著しく傷んでいる方は毛髪がさらに傷み、毛切れ等をおこすおそれがありますので使用しないでください。

キレイに染めるポイント

髪全体に泡を
しっかりなじませる！

泡が消えるまで
しっかりもみこみ
なじませる！

白髪が
気になる部分に
塗り足す！
※塗り足す際にも、泡が消える
までしっかりもみこみます。

使用量の目安

過剰に塗ると液だれ
することがあります。

セミロングヘア
(肩につく程度)の方
全量
(タマゴ大20個程度)

ショートヘアの方
タマゴ大
約10～12個程度

① 手袋をはめた手のひらに泡を出します。

① キャップをはずし、
ボトルにノズル部が
しっかりはまっている
ことを確認して、上下
にしっかり20回ほど
強く振ります。
残った分を次回にご使用に
なる場合も、しっかり強く振っ
てください。

② 箱の裏側のミシン目に穴をあけてボトル
を立てます。レバーを止まる所までしっかりと
押し、泡を出します。

- 泡を出す時に飛び散ることがあるので、ご注意ください。飛び散った泡は、すぐにティッシュペーパー等で拭き取ってください。
- 使い始めに、黒っぽい色の泡が出てくる場合がありますが、染まりに影響はありません。
- 泡を手のひらに出したら、軽く混ぜ合わせ、手早く髪に塗ってなじませてください。
- 泡の色は、染め上がりの色とは異なります。

ノズル部

ボトル

2色の泡が出ます。

ノズル部が外れるおそれがあるため、使用中に押さないように注意してください。

注意

泡を出す時の注意

レバーの中央をしっかりと下まで押し切ってください。
押し方が弱い場合、1剤と2剤が均一に出ないため、染まりません。

ボトルを大きく傾けた状態で泡を出さないでください。
ガスだけが出てしまい、最後まで使用出来なくなります。

レバーから手を離れたあとも、泡が少し出てきますので、泡のたれ落ちに注意してください。

② 泡を乾いた髪全体に塗り、しっかりもみこみなじませます。

使用量が少ないと充分に染まりません。

塗布時間：20分以内

白髪の目立つ部分の根元に泡を塗り、なじませます。
※泡が肌についた時や、たれてきた時は、水でしめらせたティッシュペーパー等ですぐに拭き取ってください。

髪をざっくり分けながら髪全体に塗り、しっかりもみこみなじませます。
※泡はなじませると消えていきます。
※手に出した泡を手の上で軽く混ぜてから塗ります。

細かい部分は
手のひらに泡を出し、
指先で混ぜてから
塗ります。

分け目・頭頂部

生え際

分け目を変えながら

耳の後ろ

後頭部

白髪の気になる部分に塗り、
しっかりもみこみなじませます。

指先で円を描くように
しっかりもみこみなじませます。

髪をざっくり分けながら
全体に塗っていきます。

髪を持ち上げる
ようにして塗ります。

左右に分けて塗り、
毛先までのばします。

注意

- 容器から直接髪に泡を出さないでください。目に入ったり、周囲に飛び散るおそれがあります。
- 泡の色は徐々に変わります。また、染め上がり色とは異なります。
- 地肌にすりこまないようにしてください。
- 髪がからまないように注意してください。
- 塗る時に、泡の飛び散りに注意してください。
- たれるおそれがあるので、クシ等で髪をとかさないでください。

③ 仕上げに泡を塗り足して、しっかりもみこみます。

キレイに染めるポイント

1 髪全体に塗り足す！

2 しっかりもみこみなじませる！

3 白髪が気になる部分に塗り足す！

しっとり
濡れた状態に
なるまで

髪全体を
にぎるように

※塗り足した泡は、消えるまで
しっかりもみこみなじませます。

※もみこんでも泡立ちません。

注意

泡が肌についていないか確認してください。
泡がついた時にはすぐ拭き取ってください。
時間がたつと皮膚が着色することがあります。

泡が1色になったらご使用をおやめください。
レバーをしっかりと押さない等、
使い方によってどちらか片方の
泡が残る場合があります。
2色の泡が出ないと染まりません。

新しく伸びた部分を染める場合

① 新しく伸びた部分だけに塗ります。

② 10分程度放置します。

③ 髪全体の色調を合わせるために、すでに染めている部分となじませます。

④ さらに10分程度放置します。

※前回使用してかぶれなかった方でも、必ず皮膚アレルギー試験（パッチテスト）をしてください。

※泡が消えるまでしっかりもみこみなじませます。

④ 20分程度放置します。

放置時間
20分
プラス
5～10分

太くて硬い髪の方、
白髪の多い方は
放置時間を5～10分
程度長くしてください。

注意

- 泡がたれそうになったら、すぐに拭き取ってください。たれると目に入るおそれがあります。
- あまり長く放置しすぎると、髪が希望の色にならないことがあります。

⑤ 洗い流します。

① 手袋をしたままぬるま湯で色が出なくなるまでよくすすぎます。
シャンプーはいつもより丁寧に2回行ってください。

② 十分にシャンプーしたあと、コンディショナーで仕上げてよく乾かします。
汚れてもさしつかえないタオルで拭いてください。

注意

- 皮膚が着色した場合、無理に落とそうすると肌を傷めることがありますので、強くこすらないでください。
- すすぎ湯が絶対に目に入らないように特に注意してください。
- 半乾きの状態では枕カバー、衣服等に色がつくことがあります。

ボトルに中味が残った場合は次回にとっておけます。

注意

ボトルから出した泡の残りは効果がなくなります。必ず洗い流して捨ててください。

次回からのご使用のために
ボトルと付属品の保管

- 中味が残った場合は、ノズル部をはずさずに、ボトルとノズル部をきれいに拭き、キャップをして、高温の場所を避けて保管してください。又、使用後の手袋はよく洗い、冷暗所で乾かして保管してください。
- 次回からご使用の際、使い始めに黒っぽい色の泡が出てくる場合がありますが、染まりに影響はありません。

後

前

ノズル部

ボトル

皮膚が着色した場合

強くこすると肌を傷めることがありますので、充分注意してください。

●メイク落とし（ジェル、クリーム等）を着色した部分につけて、軽くマッサージをしてなじませ、石けんや洗顏料で洗い流してください。やわらかいタオルに石けんや洗顏料をつけ、やさしくこすって洗い流すと効果的です。

●多少色が残った場合でも、洗髪や入浴により、数日程度で自然に落ちていきます。